

BANDAI SPIRITS のプラモデル生産工場

**「バンダイホビーセンター」太陽光発電による電力自給で
年間約 130 トンの CO₂ を削減**

屋上約 1,202 m²に 400 枚のソーラーパネルを設置し 23 年 4 月より稼働開始

株式会社 BANDAI SPIRITS（代表取締役社長：榊原博、本社：東京都港区）は、プラモデル生産工場「バンダイホビーセンター」（静岡県静岡市葵区長沼）の屋上約 1,202 m²に 400 枚のソーラーパネルを配した太陽光発電設備を導入し、2023 年 4 月より太陽光発電による電力自給を開始しました。

この取り組みは、株式会社エンバイオ・ホールディングス（代表取締役社長：西村実、東京都千代田区）と株式会社 afterFIT（代表取締役社長：谷本貫造、本社：東京都港区）が出資する MaF 合同会社との PPA 事業（Power Purchase Agreement：電力購入契約）として、「バンダイホビーセンター」の屋上に出力容量約 220kW のソーラーパネルを設置し、太陽光で発電した電力を購入するものです。年間の電力自給量は約 26 万 kWh（※）で、電力由来の CO₂ を年間約 130 トン削減する計画です。

バンダイナムコグループでは「サステナビリティ方針」を制定するとともに、脱炭素化に向けた取り組みとして、2050 年までに自社拠点におけるエネルギー由来の CO₂ 排出量を、実質ゼロとする中長期目標を掲げています。「バンダイホビーセンター」では、2022 年 7 月より再生可能エネルギー由来の電力を購入することで、CO₂ 排出量が実質ゼロの電力を使用するなど、これまでも環境負荷低減に努めてきました。今回の電力自給の施策は、より積極的な環境配慮の取り組みとして導入し、これまでの電力施策と並行して活用していきます。

（※）JIS 8907 に基づく太陽電池の発電量計算方法により算出。



「バンダイホビーセンター」屋上に設置したソーラーパネル

■ 「バンダイホビーセンター」について

「バンダイホビーセンター」は、株式会社 BANDAI SPIRITS のプラモデルの生産拠点として静岡県静岡市葵区長沼に 2006 年に竣工しました。竣工時から本館壁面にソーラーパネルを設置し、太陽光で発電した電力を使用したり、雨水・地下水の再利用システムを設置し、施設内で水を再利用するなど、これまでも環境負荷低減に努めてきました。

そのほかの環境負荷低減の取り組みとして、プラモデル設計の工夫によりランナー（プラモデルの枠の部分）を削減したり、「4色射出成形機（多色成形機）」を活用し外枠ランナーの一部を削減することで、使用材料の省資源化を行うなどしています。

また、ファンの皆さまから回収したランナーをリサイクルし、循環型社会の形成に貢献していくことを目指す「ガンバラリサイクルプロジェクト」や、プラスチック代替素材の活用も推進しています。

「バンダイホビーセンター」は、プラモデル技術の進化を追求するとともに、環境に配慮した取り組みを継続していきます。



「バンダイホビーセンター」外観

【公式サイト】

BANDAI SPIRITS のサステナビリティ：<https://www.bandaispirits.co.jp/about/sustainability/>

「バンダイホビーセンター」公式サイト：<https://www.bandaispirits.co.jp/hobbycenter/>

株式会社 BANDAI SPIRITS 公式サイト：<https://www.bandaispirits.co.jp/>

※プレスリリースの内容は、2023年4月5日(水)現在のものであり、予告なく変更する場合があります。